

社員が辞めない、「働きがい」と「働きやすい職場」をつくる！

# チームマネジメント 研修

人吉校

組織マネジメント

## 研修のねらい

経済環境が大きく変化し、どの業界にあっても人手不足が深刻化している中、従業員の離職や休職の増加は企業に大きなダメージを与えます。「なぜか、部下が辞めてしまう」、「部門一丸となって働けていない」などの悩みを抱える中小企業において、「働きやすく、働きがいのある職場」と「心理的柔軟性を持ち、強しなやかなメンタルを持つ社員への育成」の2つの観点で、職場内をマネジメントすることが重要です。

この研修では、ワークエンゲージメントの意義を理解した上で、社員が成果達成に向けて、「イキイキと働く」ための方法を実践的に身に付けます。そのうえで、自社・自部門のワークエンゲージプランを作成します。

## 研修のポイント

- ☑ 「ワークエンゲージメント」の概念・意義が理解できます。
- ☑ 社員がイキイキと働くための具体的な方法が学べます。
- ☑ 働きやすい、働きがいのある職場づくり計画を作成します。

## 研修期間

2025年 【2日間 / 13時間】  
10/21(火) ~ 10/22(水)

## 対象者

### 経営幹部 / 管理者

- 職場づくりに悩んでいる方
- 職場や部下の生産性を高めたい方
- 部下の柔軟性を引き出したい方

定員 ▶ 30名

受講料 ▶ 22,000円(税込)

## 会場

### 中小企業大学校 人吉校

熊本県人吉市鬼木町梢山1769-1

月日	時間	科目	内容
10/21 火	9:15- 9:30	オリエンテーション	
	9:30-12:30	エンゲージメントの基本	ワークエンゲージメントの全体像について、事例を通じて理解します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークエンゲージメントとは何か</li> <li>• なぜ今、ワークエンゲージメントが注目されているのか</li> <li>• 調査から見えてきたワークエンゲージメントの構造</li> <li>• 事例検討</li> </ul>
	13:30-16:30	事例企業講演	研修のまとめとして、事例企業である 三竹生コンクリート株式会社 代表取締役会長 村山 雄司氏による講演 「小さな会社だからこそできること」
10/22 水	16:30-17:30	エンゲージメントの基本	当日のまとめとして、ワークエンゲージメントを高めることの意義をディスカッションします。
	9:00-12:30	自社の問題解決策への取り組み(演習)	働きがいと働きやすさを育む職場を目指すための具体的な方法について、事例などを通じて学び、職場や自身の現状を分析します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジョン・戦略・生産性の向上に向けたトップ、上司の本気度</li> <li>• 不満要因の防止と心理的安全性と信頼関係</li> <li>• チームワークと助け合い体制の構築</li> <li>• 目標志向性と自己効力感で前向きさを作り上げる</li> <li>• レジリエンスを高める心理的手法REBT</li> <li>• 自部門、自社の改善ポイントの検討</li> </ul>
	13:30-16:00		
	16:00-16:10	修了証書交付	

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

## 講師紹介(敬称略)



溝井&パートナー経営コンサルティング事務所 代表  
溝井 伸彰 (みそい のぶあき)

中小企業診断士。中小機構アドバイザー。広告会社などを経て、(株)ティビーシーでコンサルティング事業部長に就任。1999年に独立。事業戦略、マーケティング、営業、ビジネスモデル構築の支援を中心に、製造業・卸売業・サービス業など幅広い業種の中小企業、起業家にコンサルテーションを行っている。中小企業大学校のほか、東京電機大学、産業能率大学などでも指導。「ドロッカーマネジメントを実践する会」主宰。



三竹生コンクリート株式会社 相談役 中小企業応援士  
村山 雄司 (むらやま ゆうじ)

祖父が創業し、日本一の竹屋とも言われた三栄竹材工業株式会社の3代目として昭和29年、愛知県豊田市に生まれる。関連会社である三竹生コンクリート株式会社の工場長であった平成14年に父親から事業承継。両社あわせて6億もの借入と赤字で金融機関からは廃業まで取り沙汰されたが、小口の顧客や社員を大切に経営に取り組み、5年予定の経営改善計画を3年半で終了し再生させた。

